

オリーブの会通信

2015年4月2日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会

〒760-0078 高松市今新町4番地20

連絡先 TEL/FAX 087-843-9877 (川井)

<http://khj-olive.com/>



第154回月例会ご案内

日時	2015年4月19日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)
場所	香川県社会福祉総合センター 7階 (第1中会議室) 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内容	13:30 ~ 「2015年度通常総会」 2014年度事業報告・2014年度決算報告および監査報告 2015年度事業計画(案)・2015年度活動予算書(案) 役員改選について 他 14:30~ 「第10回全国大会・香川大会」について (第10回全国ひきこもり家族・支援者代表交流研修会・香川大会) 理事長 川井富枝 15:00~ 休憩 15:15~ 「グループ別話し合い」
参加費	・会員1家族 1,000円 ・一般の方 1,500円 ・当事者は無料

各地の花見の様子がテレビ等で連日伝えられるこの頃です。

◇全国に家族会設立を目標に昨年8月の山梨県桃の会をはじめとし、鳥取らくだの会、広島東部支部「福山ばらの会」、群馬はるかぜの会、福島県花ももの会、福井すいせんの会他の家族会が續々設立されております。そして、池田代表、中垣内先生のご講演、また池上氏のひきこもり大学、ひきこもり経験者の体験発表、当事者交流会等が行われています。早速、その場で会の名前、世

話人、役員等を決めて自分たちの会が発足することになります。しかし、その後も-近くの支部と連携をとり、月例会等のフォローのため池田代表は何度も足を運ばれております。本当に頭が下がります。本部事務局も当然超多忙となります。私たちの支部も、そのような全国ネットワークでつながっています。しかし支部間の格差、支部の各会員のニーズも様々です。

◇当会にも昨年は7名の方が新規に入会されました。目的はどのような形であれ、我が子の社会参加を願ってのことと思います。全国の支部で体験談を発表できるようになった青年たち、勿論本人の納得と決断が一番ですが、各人各様の道のりを経て、また多くの方々との出会いがあって今があります。青年の表面だけを捉えて焦らないで、地に足を付けて前に進めればと願っています。

◇今月4月は通常総会の開催月です。ご案内の通り4月月例会の冒頭を「2015年度通常総会」として開催しますので、欠席者が一人でも少なくなるように皆様お一人お一人のご出席をお願い致します。

特に、本年10月31日・11月1日の両日第10回KHJ全国大会が香川県で開催されます。

また、昨年度「ひきこもりサポーター養成研修」が終了し、今年度から訪問サポート事業が実際に開始されるという「香川県オリーブの会」にとって大変重要な時期に開催される総会がありますので、「自分たち親が自らの必要に迫られ作った会」という原点に今一度立ち返りよろしく申し上げます。

※同封書類（正会員のみ）

①2015年度通常総会ご案内 ②委任状（ハガキ）・2015年度より退会を表明されている方も委任状の提出をお願いします。

【3月例会（3月22日の概要）】

1 報告・連絡事項

川井理事長

・オリーブの会に関連する会議、行事についての報告や今後の主な行事予定等について話された。話しの中で、会がスタートしてから7月より14年目に入るが、会員の入れ替わりなどにより会の発足当初の状況等をほとんど知らない会員も多くなったことから今日までの会の歩みや、発足当初から今日まで協力・支援をいただいた先生方、議員さんのお名前を上げられこれまでの経緯説明がなされた。ちなみに、発足当初の任意団体の名称は「四国（香川）親の会」であった。

報告等がなされた主な事項

- ① 3月1日（午前）の第1回香川県オリーブの会拡大委員会、並びに同日午後の第1回KHJ四国ブロック会議（議題：第10回KHJ全国大会）・・・四国四県とも出席。
- ② 居場所活動の最近の状況。
- ③ 在宅ワークとして水引を使った金封の製作（居場所を中心拠点に推進中）について参加者は親中心であるが既に若者当事者も参加し始めている。
- ④ サポーター派遣事業、ピアサポーター派遣事業について。
- ⑤ 会の性格は、支援する側であると同時に支援される側でもあるということ、私たち

もひきこもりの子を持つ当事者であること。

- ⑥ 新年度事業に関しての財団等からの助成金は現在、助成交付決定が皆無である。
- ⑦ ひきこもりの親の会の運営については何処からも助成金は受けられない。すべて会費と寄附金と会員のボランティアで運営している。共に活動を希望する方は、原則として入会していただきたい。
- ⑧ 第二回以降の「四国ブロック会議」の開催場所は、四国四県の同距離となる三好市保健センターとし、来る5月10日（日）に開催予定。若者の代表も各県2～3名の参加を考えている。
- ⑨ 「ポパイの会」が3月15日（日）開催した「パークゴルフ」の報告・・・平野理事

2 和歌山県内の作業所見学の出席者による報告、感想

去る、3月6・7日の間1泊2日の行程で和歌山県内にある作業所の見学会を行いました。17名の参加がありました。例会に出席した行事参加者全員にそれぞれ感想を話していただきました。

【日程と訪問先】

日 程	作業所（施設・店舗）	事業運営	営業品目等	所在地・責任者 （敬称略）
3月6日	「エルシティオ」 *スペイン語「居場所」の意	県補助金	コーヒー焙煎販売、居場所機能、訪問活動	和歌山市 ・金城清弘
3月7日	「ララ・ロカル」 *イタリア語「地元の」の意	A型	パン製造販売・カフェ併設	和歌山県田辺市 ・河原美和子
3月7日	「町屋カフェ上屋敷2丁目」	B型	食事処、・石窯で製造するピザ・パンの製造販売	和歌山県田辺市 ・河原美和子
訪ねた中 観 光 スポット等	<ul style="list-style-type: none"> ・名湯白浜温泉ホテル 「むさし」泊 ・千畳敷 ・とれとれ市場南紀白浜 など 			



2日目 観光名所 「千畳敷」でゴキゲン



「ララ・ロカル」の正面玄関

感想の一部

- ・これだけの人数で類似の行事をしたのは会として初めてであったが、この目で見て、やればここまでできるのかという驚きを持った。
- ・いずれの作業所も、これまで作業所について経験のない元教員であった方が立ち上げたものであるが、そのスピリットと情熱の成果に感動した。作業所開設の前段で地域住民に施設の性格・必要性を十分に理解していただくための努力を積み重ねた結果が今につながっているとの話を聞いた。
- ・多くが親で構成されたメンバーに若い方々が2名と訪問サポーター養成研修の参加者も1名加わっていただいたことは大変良かった。
- ・全額県からの補助金で運営する「居場所」があり、ひきこもり当事者が製造スタッフに加わってできたパンなどの製品を喜んで買いに来る市民、ピザ、和食など提供される昼食を嬉々として食べていた街の人々の顔がとても印象的であり和歌山県のすごさを改めて知った。
- ・夜同室の方と話が弾み午前3時頃まで互いの課題について話し込んだ。
- ・今回の行事で会員相互の親近感がこれまでよりも飛躍的に深くなり今後親相互のピアとして支え合って行けそうに感じる。
- ・この種の行事をできれば1年に1回程度、日帰りでも計画実施できればいい。

○金城先生と河原先生のお話しの中で心に残った内容

- ・「エルシティオ」の敷地はひきこもり当事者の親の元製材所用地である。
- ・訪問支援の基本的姿勢は、引き出すではなく先ずは話を聴く、親を元気にすることを目的にある。
- ・話を聴くということは、こちらが正解を出さない。なぜそのように言うのかを考えることである。
- ・行政が動くのは「住民が必要を感じているか」どうかであるからその声を発し伝えなければならない。



「エルシティオ」の玄関前で全員集合

- ・訪問支援には、支援計画、当事者の環境調査が必要となってくる。複数の方が訪問する場合は記録シートを作成する必要も出てくる。
- ・物を壊す、人に当たるといことは、何とかしたいという意思の表現であるため、むしろ喜ばなければならない。
- ・料理しながら、スマートフォンをしながら子どもの話を聴いてはならない。
- ・女性の当事者は男性に比して依存が強くなる傾向がある。
- ・当初は、ひきこもり当事者を一般就労につなげたいと考えて始めたが、作業所を開所して当事者と接していく中で一般的就労が高いハードルであることを思い知った。

- ・作業所開設に当たっては地域住民への根気強い理解を得るための作業に時間を惜しんではならない。

4. グループ別話し合い

○現在、ひきこもり勝ちの息子は両親とあまり会話がないう状態であるが祖父母とは会話はできており仕事も手伝うほどの状態であるが対応方法をどうしたものか。

ヒント：関係のいい祖父母にお願いして、気持ちを率直に「助かる」、「ありがとう」など、努めてことば表現してもらうことはとても意味があるのではないか

○親が事情により転居を希望しているが、息子がひきこもり状態でありなかなかそれをはっきりと言いだせないでいる。

ヒント：転居の理由が、親の今後の人生設計上必要である旨を真摯に伝えることが必要ではないか。しばらくは現住居を手放さないでご本人が単身であってもUターンできる気持ちの余裕を与えることは考えられないか。

○子どもがひきこもりから脱皮できるきっかけはどんなことがあるのだろうか。

ヒント：きっかけは、様々なケースがあり一様ではないが一つのケースとして本人がこだわっていたこと（プライド）が吹っ切れそれを捨てることができた時であったという経験談を聞いたことがある。

○ひきこもりの期間が長くなり、本人も何とかこの状態を脱したいと本人なりにチャレンジを繰り返してはいるがなかなか成功につながらない。

ヒント：親はじめ周囲のものも根気のいることではあるが、必ずその時は到来するとの希望を持ち続け本人が居心地の良い家庭を形成し当事者に寄り添っていく姿勢を貫くことが大切ではないか。

【ポパイの会】2015/ 3月5日

1年間の振り返りを行いました。まず、イベントを時系列順に列記し、各々がその中から一つ選びだし400～500字程度の回想文を記しました。その作業をしつつ僕の胸に去来したのは「今年は結構バラエティーに富んだ内容のある充実したイベントの連続であったなあ」という満足感を伴う感慨ではなかったか・・・と思います。その後、各自が持ち寄り、保護者の方々が差し入れて下さったお菓子や飲み物を頂きながら、今年度のイベントについての回顧、来年度に向けての展望、はたまた、現在の各々の近況や悩み等について話し合いました。

3月15日

朝から雨が降りそうで降らないという微妙な天候でしたが、12:30に現地「エコランド鶴足津」に集合し、思い切ってプレーを強行しました。場所は瀬戸大橋を間近に一望できるとても景色の良い所。「天気が良いければ気持ちのいい時間が過ごせ、素敵な空間を堪能できたらなあ～」。また、各々のレベルでプレーを楽しむことができ、比較的個々の技量の差がつきにくく、誰でもそこそこ楽しめる競技ではないかと思いました。保護者の方々と一緒に大会を開催しても面白いのでは・・・とも思いました。パークゴルフ終了後、場所を移し反省会もかねて食事会を行いました。食材や料理の質はともかく、とにかく驚くべき安さで、また別の機会にも来てみたいと思わせてくれるお店でした。 (Kさんの日誌より)

※天気予報は早くから雨の予報でしたが、Kさんに当日の時間的な段取りは全てお願いしていました。中止にするか決行するか少し悩んだようでした。終了後の反省会も流れに任せることにしました。年齢に関係なく、本当に童心にかえって楽しむことができました。雨は大したことないだろうと傘は皆車に置いていたので、プレー中大粒の雨が降り出した時に、お父さんと一緒に参加していたNさんが、皆に傘を貸してくれました。本当に助かりました。ありがとうございました。（川井）

障がい福祉サービス事業所「エコランド鶴足津」（うたづ）では、「かがわ障害者プラン」における重点施策「雇用・就労の促進」の一端を担うべく、知的障害を持つ方への生活支援・就労支援を通して、個々に技量を高めていただき、就労等への道を開いていくとともに、積極的な地域交流を行い、社会的自立の促進を図っています。

<http://www.utazufukushikai.or.jp/ecoland/> の施設紹介より



【2015/4・5月居場所活動予定】

内 容	月	日	曜 日	時 間	担 当
2015年度第1回拡大理事会	4	5	日	13:30～16:00	川井
在宅ワーク（原則 火曜日）	4	7.14 21.28	火	13:30～16:30	平野・本倉
ポパイの会（新年度の計画・ルール作り）	4	7	火	13:30～16:30	秦
第2回KHJ四国ブロック会議（徳島）	5	10	日	13:00～16:00	高橋（徳島）

「ながおか心のクリニック」開業記念講演会・内覧会のお知らせ

4月7日に中垣内正和先生が長岡にて「ながおか心のクリニック」（住所：長岡市千歳1丁目3-42）を開業されることとなりました。つきましては4月4日に下記のとおり開業記念講演会および内覧会（10:00～16:00）が開催されます。

中垣内先生「希望のひきこもり」と池田代表「ひきこもり家族会の成長」の講演があります。

【日 時】：平成27年4月4日（土）13:00～15:30

【会 場】：「メディアぷらっと」（定員 50名）

住所：長岡市千歳1丁目3番43号

JR信越本線長岡駅からバスにて「法務局前線」に乗車し、終点で下車。徒歩1分。

【参加費】：無料・予約不要